

<UEJ 情報>

Index of Articles, Notes, and News, Part 2,
In The University Extension Journal, 1890 – 95

Compiled and Annotated by
Professor Emeritus of Sophia University
KAGAWA, Masahiro, Ph.D.

<パート 2 >

編集ノート

I-1, February 1890

- 1) 大学拡張に、新ジャーナルとして本誌が登場. I-1, 1890, 15.
- 2) Lord Randolph Churchill、初等教育の成果を大学拡張で刈り取るという. I-1, 1890, 1.
- 3) ポリテクニクは「労働の大学」である. I-1, 1890, 15.
- 4) 奨学金の役割. I-1, 1890, 15.
- 5) ロンドン大学、モットーを検討中、候補のひとつは '*Spiritus intus alit*'である. I-1, 1890, 1.
- 6) 追悼記事、大学拡張の支援者 Dr. Lightfoot が逝去. I-1, 1890, 1.
- 7) 学生の館ベリオール・ハウス開所. I-1, 1890, 3.
- 8) C. Collins の講座開講式、基調講演は A. Birrell, M.P.が務める. I-1, 1890, 12.

I-2, March 1890

- 1) 拡張運動の衰退気味. I-2, 1890, 13.
- 2) オックスフォード、夏期講習会の報告書を刊行 . I-2, 1890, 13.
- 3) ロンドン商工会議所、拡張講座修了証取得者を優遇. I-2, 1890, 13.
- 4) ロンドン、学位を授与できる教授大学を持つべきだ. I-2, 1890, 13.
- 5) Mr. Murray、拡張講座の手引きとなるテキストを出版する. I-2, 1890, 23.
- 6) ロンドン協会、夏期講習会受講のための奨学金 10 ポンドが 3 人の受講生に授与される. I-2, 1890, 17.

I-3, April 1890

- 1) オックスフォード、短期講座に修了証を授与しないと決定. I-3, 1890, 25.
- 2) 昨秋学期における三大学拡張当局提供の講座数は 200、平均出席者数 22,143 人、修了証取得者 2079 人. I-3, 1890, 25.
- 3) 国立美術館に美術クラスができれば有り難いという意見. I-3, 1890, 25.
- 4) セツルメント Rev. S. Barnett が提案した、ロンドンに学生館を 4 館作る案が了承される . I-3, 1890, 25.
- 5) Dr. Westcott、ダラムの主教になる. I-3, 1890, 25.

- 6) Dr. Westcott、ケンブリッジとロンドンの大学拡張を常に支援する。I-3, 1890, 29.
- 7) ロンドン協会試験委員、Prof. T.F. Tout がオーウェンズ・カレッジの歴史学教授になる、I-3, 1890, 29.
- 8) ロンドン協会、講座数は過去最高になる。I-3, 1890, 29.
- 9) ユニヴァーシティ・カレッジの Prof. Rumsey がロンドン協会の評議員になる。I-3, 1890, 29.
- 10) ケンジントンセンターでの民衆講座に、700-1000 人も聴講者あり。I-3, 1890, 29.
- 11) レーウィッシュムセンターは過去に講座を担当した拡張講師を招いて一大懇親会を開く予定。I-3, 1890, 29.
- 12) クリップルゲートとビショップスゲートの公共図書館は拡張講座を開くこともその設置目的とする。I-3, 1890, 29.
- 13) トインビー旅行クラブの 56 名は、イタリアのシエナとペルージアへ 18 日間の旅行に出かける。I-3, 1890, 29.
- 14) セント・アンドリュース大学の Prof. Knight が大学拡張マニュアルを編集発行する。I-3, 1890, 29.
- 15) セント・アンドリュース大学で女性の大学教育夏期セッションを開く予定。I-3, 1890, 29.
- 16) オックスフォード拡張委員会は短期講座に修了証を出さないで成績優秀者のリストを公表することにする。I-3, 1890, 29.
- 17) モンペリエ大学 600 年祭、I-3, 1890, 29.
- 18) シドニー大学の大学拡張を始めた Prof. W. Scott が訪欧中。I-3, 1890, 29.
- 19) *South-Western University Extension Journal* の創刊号が先月刊行される。I-3, 1890, 31.

I-4, May 1890

- 1) 新法で出来高払い廃止、小学校教師は多様にある成人教育を活用して広い見識を養うようにせよ。I-4, 1 May 1890, 41
- 2) 初等教育と拡張講座の間を埋めるのは継続夜間学校である。I-4, 1890, 41.
- 3) 女性が上級地方試験に合格したりロンドン大学へ入学する、こうした拡張教育を強化しよう。I-4, 1890, 41.
- 4) ロンドンのポリテクニク。I-4, 1890, 41.
- 5) 民衆講座は大変よい企画である。I-4, 1890, 41.
- 6) 修了証授与式、宣伝の時代であるから儀式的要素も必要かも。I-4, 1890, 41.
- 7) 拡張講師を務めた Prof. M. Muller が 2 年間グラスゴー大学のギフォード講師職に選出される。I-V, 1890, 49.
- 8) Earl of Carlisle、拡張講師 Rev. H. Shaw にモーペスの教育司祭の給与を献呈。I-V, 1890, 49.
- 9) Mr. F. Morrison、バターシーのポリテクニクに千ポンド、バターシーの拡張協会の基金に 10 ポンド寄付する。I-V, 1890, 49.
- 10) セント・ジュードの美術展、20 日間に 55,040 人が鑑賞。I-V, 1890, 49.
- 11) 大学拡張講座の春期に最終試験で優秀な成績を収めた人の一人は 70 歳代の人であ

- った. I-V, 1890, 49.
- 12) ウールウィッチセンター、修了証授与式で Lord Kinnaird が賞品と修了証授与の役を引き受ける. I-V, 1890, 49.
 - 13) ロンドン協会の管轄区域内のケーターハム・バレー、ケンジントン、トゥーティンの に新しい拡張センターができる. I-V, 1890, 49.
 - 14) グレシャム・カレッジでの「イギリスの建築」講座の最初の講義を Mr.J.J. Baddeley が引き受ける. I-V, 1890, 49.
 - 15) 大英博物館で「古代の芸術と生活」の実演講座の第1講が始まる. I-4, 1890, 47.
 - 16) Mr. T. Hughes、講演で、大学拡張の起源は40年前の労働者協会にありという. I-4, 1890, 50.
 - 17) トインビー旅行団は、北部イタリアでの博覧会から帰国. I-4, 1890, 43.

I-6, June 1890

- 1) 本誌の紙上会議、学生協会についての会議は非常に有益である. I-6, 1890, 65.
- 2) 春学期と秋学期の空白期間を結ぶ学習会の試みが多数ある. I-6, 1890, 65.
- 3) スコットランドでの大学拡張講座の発展. I-6, 1890, 65.
- 4) ロンドンでの民衆講座が拡張講座の基盤を作ることに貢献している. I-6, 1890, 65.
- 5) 昨年の民衆講座10講座に22,019人が受講する. I-6, 1890, 65.
- 6) エクセターセンター、81名が論文提出、68名が最終試験を受ける、これは全英で最も高
の数である. I-6, 1890, 65.
- 7) 講座が開かれぬ期間に歴史探訪の学習旅行に関心が大. I-6, 1890, 65.
- 8) 紙上会議で、ニュートン・アボットでの受講生会が取り上げられる. I-6, 1890, 66.
- 9) ホワイトチャペルセンターの最初の受講生であり受講生会の事務局長である W.H.Wade
がセント・ポール大聖堂で叙階される. I-6, 1890, 73.

I-7, August 1890

- 1) アーニングセンター、Mr.C. Collins の講座で4名が最優秀修了証を授与される. I-7,
1890, 79.

I-8, September 1890

[記載なし]

I-9, October 1890

[記載なし]

I-10, November 1890

- 1) ロンドンでの夜間学級の案内書が6ペンスで出版される. I-10, 1890. 117.
- 2) グラスゴーで Dr. Muirhead が女性の教育と医学生物学研究所設立のために2万ポンド
を遺贈する. I-10, 1890. 120.

I-11, December 1890

- 1) デンマーク、6年かかって大学拡張が定着. I-11, 1890, 134.

I-12, January 1891

- 1) ホルボーンで、拡張講師の正餐会が開かれる. I-12, 1891, 148.
- 2) エクセター州議会に提出された助成金申請書類については次号に掲載予定. I-12, 1891, 144.

II-13, Februrry 1891

- 1) グレシヤムカレッジ、Mr. C. Collins の「テニソン」講座に 250 人が受講. II-13, 1891, 4.
- 2) 若い職人が拡張講師に、「勉学の仕方」が分からなかったのが一番つらかったと告白. II-13, 1891, 4.
- 3) 村落地区に大学教育を浸透させる方法. II-13, 1891, 4.
- 4) 追悼記事、ロンドン協会の講師 Mr. Lant Carpenter 逝去. II-13, 1891, 4.
- 5) ケンブリッジ拡張委員会の元事務局長ブラウン教授が、セント・ポール大聖堂の参事会員となる.. II-13, 1891, 4.
- 6) ロンドン協会、中央講座が首都の高等教育機関の調整機能を果たしている. II-13, 1891, 4.
- 7) フィンランドの叙事詩『カレワラ』の訳者 Dr. Crawford 曰く、フィンランドには大学拡張がないと. II-13, 1891, 4.
- 8) 今期四大学拡張当局が提供する講座数は 186 講座である. II-13, 1891, 4.
- 9) ロンドン協会の受講生年次大会はロンドン市長が主催し、市長公邸で開かれる. II-13, 1891, 4.
- 10) ロンドン協会、春期開講講座数は 62, 平均受講生数は 6602 人. II-13, 1891, 4.
- 11) ロンドン市議会は貧民地区の職人の講座に 500 ポンドを補助する. II-13, 1891, 4.
- 12) デボン州議会の委員会は、南西大学拡張協会に農業関係の講座を 30 から 40 ぐらい開けるように 2—3 千ポンドの補助金を出すように答申した. II-13, 1891, 4.
- 13) 民衆講座が開かれた後に、ペックハムとブリックトンに拡張講座が導入される. II-13, 1891, 4.
- 14) ロンドン協会の元拡張講師 Prof. K.Pearson はグレシヤムカレッジの教授に選出される. II-13, 1891, 4.
- 15) ダラム理科カレッジで Mr. A.Grey が拡張講座受講生に賞を授与し励ます. II-13, 1891, 15.
- 16) 全国技術・中等教育振興協会は州議会からの補助金獲得の手引き書を発行. … II-13, 1891, 7.

II-14, Februry 1891

- 1) 公共図書館は民衆の知的ニーズに応えるために必要である. II-14, 1891, 18.
- 2) どの町にもある公共図書館は、蔵書とかかわらせて教育活動を提供すべきである. II-14, 1891, 18.

- 3) ダラム理科カレッジ、Prof. Garnett は鉄道料金の割引制度を提案する.. II-14, 1891, 18.
- 4) 受講生会はロンドンでも大いに役立つ試みである. II-14, 1891, 18.
- 5) 州議会の教育基金は大学拡張講座にも役立つ. II-14, 1891, 18.
- 6) アメリカで大学拡張運動が進展中. II-14, 1891, 18.
- 7) アメリカ協会事務局長 Mr. Henderson は、本誌に寄稿したいが、忙しくてそれができない. II-14, 1891, 18.
- 8) アメリカ協会は、ロンドン協会の情報を求める. II-14, 1891, 18.
- 9) アメリカ協会の元の名前は、フィラデルフィア協会である. II-14, 1891, 18.
- 10) バターシーセンターで小学6年の男子児童5人が面白い講座の実験をする.
II-14, 1891, 25.
- 11) エクセターセンター、「フランス革命」の午後の講座に200人、夜の講座に130人が
受講、130人が毎週の課題論文を提出している. II-14, 1891, 20.

II-15, March 1891

- 1) 新教育法には、小学校教師が拡張講座を受講したときの益について何も述べられていない. II-15, 1891, 30.
- 2) 教生の修了試験に拡張講座を当てるのは難しいことではない. II-15, 1891, 30.
- 3) ロンドン協会、春期講座後の試験委員報告で大変良いとの評価. II-15, 1891, 30.
- 4) 文学講座の最終試験は16の科目で行われた、出題範囲はホメロスからダンテ、シェイクスピアの史劇から現代の詩までと広い.. II-15, 1891, 30.
- 5) 「政治経済学」講座の試験は4センターで行われ、41名が修了証を取得、そのうち16名(39%)が非常に優秀という評価であった. II-15, 1891, 30.
- 6) 労働者クラブ連盟は巡回文庫をもって労働者関係の学習団体の間を回っている.
II-15, 1891, 39.

II-16, March 1891

- 1) Prof. Garnett の提案は鉄道料金の学割を作れということ. II-16, 1891, 42.
- 2) Prof. Garnett は、成人の夜間教育についての請願書作成中. 42.
- 3) デボン州の州議会の助成講座は成功裡に始まる. 42.
- 4) ダラム理科カレッジ、技術教育拡張の請願書を州議会に提出. 42.
- 5) 新設ユニヴァーシティカレッジの代表団が、大蔵大臣に補助金要請. 42.
- 6) ロンドン市議会、地方税法の割り当てを検討中. II-16, 1891, 54.

II-17, April 1891

- 1) アメリカで大学拡張運動が急速に発展中. II-17, 1891, 58.
- 2) ロンドン協会、会長 Mr. Goschen はシティの主要企業に支援を求める. II-17, 1891, 58.
- 3) ロンドン協会、ダラム主教の講演を *Manchester Guardian* が掲載. II-17, 1891, 58.
- 4) 南東諸州大学拡張協会の第4回目の会合. II-17, 1891, 58.
- 5) ダラム理科カレッジ、技術教育担当に工学・海洋建築学の Prof. R.L.Weighton を任命.
II-17, 1891, 58.

- 6)セント・アンドリューズ大学、拡張協会第3年報発行。 II-17, 1891, 58.
- 7)ランカシャー・チェシャー大学拡張協会結成の会議。 II-17, 1891, 58.
- 8)グレシャムカレッジ、Prof. K.Pearson が第2の講座を担当。 II-17, 1891, 58.
- 9)ダラム理科カレッジ、Prof. Garnet は南ロンドン・ポリテクニクの特別相談役となる。 II-17, 1891, 58
- 10)Prof. Garnett、夜学生の鉄道割引料金を求める請願運動を開始。 II-17, 1891, 58.

II-18, June 1891

- 1)地方に広域組織を作る意味は、近隣センターと連携させるためである。 II-18, 1891, 70
- 2)ケンブリッジ大学拡張委員会、事務局長は Prof. G.F.Brown から拡張講師歴のある Mr. A.Berry に替わる。 II-18, 1891, 70.
- 3)イギリス市民がギリシャ語を知らないことは嘆かわしい。 II-18, 1891, 70.
- 4)大学拡張が一般雑誌でよく取り上げられる、アメリカの雑誌にも載る。 II-18, 1891, 70.
- 5)シカゴ大学、学長になる Prof. Harper が新大学の抱負を語る。 II-18, 1891, 70。
- 6)ケンブリッジの拡張講師 Mr.I. Gollantcz がロンドンのユニヴァーシティ・カレッジの英語英文学の特別研究職に就く、年報 200 ポンド。 II-18, 1891, 70.
- 7)拡張講師 V.B. レーヴィス教授が海事建築会から金賞を受賞。 II-18, 1891, 70.
- 8)ヨークシャー・カレッジの評議会が、理系拡張講師の任命を検討中。 II-18, 1891, 70.
- 9)ロンドン協会、年度の始まりを9月1日から8月31日に変更。 II-18, 1891, 70.
- 10)ケンブリッジ、大学拡張講師組合を結成。 II-18, 1891, p70-71.
- 11)大学拡張教育の地方組織担当者に国庫補助金の支給を求める陳情を考える会がウェストミンスター・パレスホテルで開かれる。 II-18, 1891, 71.
- 12)ベルファストでの大学拡張。 II-18, 1891, 79.

II-19, August 1891

- 1)アメリカ協会、月刊誌 *University Extension* を刊行始める。 II-19, 1891 85.
- 2)米、仏、インド等海外での拡張運動の発展について。 II-19, 1891 85.
- 3)ロンドン協会の受講生 Miss Lathbury がオックスフォードの古典語優等学位「グレイツ」に名前が載る。 II-19, 1891, 85.
- 4)オックスフォード、拡張講座は総数 37、そのうち 6 回講義が 22, 12 回講義が 12, その他が 6-10 回講義。 II-19, 1891,85.
- 5)州議会は大学拡張従事者から技術教育担当事務局長を探している。 II-19, 1891, 85.
- 6)州議会から大学に理系科目の開講要望が提出される。 II-19, 1891, 85.
- 7)拡張講師 Mr. J.D.McClure がミル・ヒル・スクールの校長になる。 II-19, 1891, 85.
- 8)全国家庭読書連盟の特別会議が開かれ、Mr. T.Hobson, Mr. Sadler 等の著名な大学拡張人が出席する。 II-19, 1891, 89.
- 9)地方組織者が直面する問題についての大学拡張会議が開かれる。 II-19, 1891, 89.

II-20, October 1891

- 1) エグゼターでの実験に関心が集まる. II-20, 1891, 94.
- 2) ケント州議会は技術教育に関連する拡張講座に 3 千ポンドの予算を計上し、教場 60 センターを設ける予定.. II-20, 1891, 94.
- 3) ロンドン協会、3 つの民衆講座(短期講座)を開講する. II-20, 1891, 94.
- 4) シカゴでの開かれる世界の見本市で大学拡張世界会議の開催を検討中. II-20, 1891, 94.
- 5) トーティング・センターの講座の広告. II-20, 1891, 94.
- 6) *Education* 9 月号に R.D. Roberts と大学拡張に関するインタビューが載る. II-20, 1891, 94.
- 7) デボン州議会は秋学期に 23 カ所で講座を提供した、それぞれの教場で受講生会が作られる. II-20, 1891, 94.
- 8) アメリカ協会の Miss I.M. Gardner がオックスフォード夏期講習会について *Philadelphia Inquirer* に論文を載せる. II-20, 1891, 99.

II-21, October 1891

- 1) 大学拡張を進めて行くためにもロンドンに新大学が必要. II-21, 1891, 106.
- 2) 知識は少数の人々のものではない、知識と広い心は「大学拡張」と共にある. II-21, 1891, 106.
- 3) オックスフォードでの夏期講習会、受講生 600 人が署名した感謝状が副総長に送られる. II-21, 1891, 106.
- 4) Mr. T.D. Galpin が、ドーセット州議会に、州内の人が夏期講習会に出席できるよう千ポンドを寄付する. II-21, 1891, 106.
- 5) 夏期講習会の奨学生の選考は、提出されたエッセイで審査される. II-21, 1891, 106.
- 6) トインビーホールでは冬期講座以外に、著名講師の講座が開かれる. II-21, 1891, 106
- 7) 本号で、州議会に関する情報提供をする. II-21, 1891, 106.
- 8) シカゴの世界の見本市で全世界の大学拡張従事者を集めての会議を検討中. II-21, 1891, 106.

II-22, November 1891

- 1) セント・アンドリュース大は女性の入学試験で必要とされる L L A の試験の代わりに 大学拡張修了証をもって代替することになっている. II-22, 1891, 118.
- 2) 銀行業界協会の試験に合格した 3 分の 2 の人は、Mr.A.Smith の「政治経済学」講座の受講生. II-22, 1891, 118.
- 3) セSSIONナル修了証の取得資格を持つ学生は書類を整えて事務局に申請をすること . II-22, 1891, 118.
- 4) エクセターで民衆講座が成功. II-22, 1891, 118.
- 5) リッチモンドとサウス・ランベスのセンターで Mr.C.Collins の「ギリシャ文学」講座実施中. II-22, 1891, 118.
- 6) 学校教育の悪影響から「ギリシャ文学」に無関心になっているのを跳ね返す.. II-22, 1891, 118.
- 7) ギリシャ語がわからなくても「ギリシャ文学」の訳本で学ぶことがたくさんできる.

II-22, 1891, 118.

- 8) ギリシャ文学のもつ文学的美的な価値は、精神的・霊的な文化として大きい. II-22, 1891, 118.
- 9) グレシャムカレッジでは、最も著名な拡張講師によりギリシャの演劇の講座が開講されている. II-22, 1891, 118.
- 10) ロンドン協会、事務局次長にオックスフォードの Mr. P.M.Wallace が任命される. II-22, 1891, 118.

II-23, November 1891.

- 1) グレシャムカレッジで Prof. K. Pearson の「統計の扱い方」についての講座開講. II-23, 1891, 130.
- 2) トインビーホールのエリザベス朝文学会が第 8 期の便覧を出版. II-23, 1891, 130.
- 3) 同上文学会は、Prof. Dowden, Dr. Furnivall 等多くの学者が参加している. II-23, 1891, 130.
- 4) ロンドンのシティとギルドの会の科学技術試験の報告書が発表される. II-23, 1891, 130.
- 5) 地方センターの事務局長会議がグレシャムカレッジの大講義室で開かれると発表される. II-23, 1891, 130.

II-24, December 1891

- 1) 皇女メイさまが、規則正しくコリンズの「エリザベス朝文学」講座に出席される. II-24, 1891, 142.
- 2) ロンドン大学拡張協会、大学合同委員会は 15 歳以下の少年の受講を認めないことにする. II-24, 1891, 142.
- 3) 民衆講座で盛況を博しているのは、ホルボーンとバーモンジーで開かれている Prof. V. Levis の「健康」講座である. II-24, 1891, 142.
- 4) 多数の受講生に親しまれている Prof. H. Griffin の講義概要が *Pall Mall Gazette* に載る. II-24, 1891, 142.
- 5) 来年度の夏期講習会はケンブリッジで開かれる. II-24, 1891, 142.
- 6) 大学拡張に国庫補助金を求める代表に対して、Lord Cranbrook から回答が出る. II-24, 1891, 142.
- 7) *Educational Review* に M.E. Sadler の「イギリス人の教育的価値観」と「大学拡張の可能性」についての論文が掲載される. II-24, 1891.

III-25, January 1892

- 1) ダラム大学、Dr. Westcott と Sir O. Roberts に D.C.L. (民法) の名誉博士号を授与する. III-25, 1892, 3.
- 2) 受講生支援、ロンドン・インスティテューションが拡張学生に図書室を開放する. III-25, 1892, 3.
- 3) Mr. Arnold が、ケント州議会の基金を活用して、大学拡張講座に理系の科目を増やすこ

とを提案. III-25, 1892, 3.

- 4) ケンブリッジ大学拡張委員会が民衆講座案を検討中. III-25, 1892, 3.
- 5) バーモンジー・セツルメントが開所する. III-25, 1892, 3.
- 6) 女性拡張講師 Miss E.Sellers と Miss Millington-Lathbury による「ギリシャの美術と生活」講座がチェルシーとホワイトチャペルのセンターで開講される. III-25, 1892, 3
- 7) ロンドンでの古代ギリシャ関係の講座は女性講師の掌中にある. III-25, 1892, p3-4.
- 8) ロンドンでのギリシャ関係講座の元締めは Miss Harrison である. III-25, 1892, 4.
- 9) ロンドン・シティにあるカーペンター社は、従業員の教育用に講座の便覧を作成し、従業員に参加させている. III-25, 1892, 4
- 10) Sir L. Playfair 著の *Subjects of Social Welfare* から大学論を抜粋. III-25, 1892, 2.

III-26, February 1892

- 1) ロンドン協会の評議員会は、本誌の販売促進のため、年間通しでの購入会費を 1 シリング 6 ペンス、単品購入は 2 ペンスとする. III-26, 1892, 18.
- 2) ギリシャのエルギン・マーブルの保存について考える科目. III-26, 1892, 18
- 3) Miss E. Sellers のギリシャの講座のおかげで、逐語訳を提供することができるようになった. III-26, 1892, 18
- 4) ロンドンではギリシャ系の講座が盛んになり、前の学期には 45 名が最終試験を受験し、44 名が修了証を取得、うち最優秀を 8 人が獲得した.. III-26, 1892, 18
- 5) 州や地区での広域組織の形成が進んでいる. III-26, 1892, 18
- 6) フランスの *Revue Bleue* に M.M. Leclerc のイギリス大学拡張の論文が載る. III-26, 1892, 18-19.
- 7) ロンドン新大学のアルバート大学設立勅許状の条文改訂を求める請願書がロンドン協会の受講生から提出される. III-26, 1892, 19.
- 8) チェルシー・センターの受講生会は、Prof. Harkomer の講義をホワイトランド・カレッジで受講する. III-26, 1892, 21.

III-27, March 1892

- 1) グレシャム大学設立勅許状草案がロンドンの新聞に掲載される. III-27, 1892, 34.
- 2) ロンドン協会の年次大会基調講演者は Canon Browne. III-27, 1892, 34.
- 3) 拡張講師 Mr. Moulton の夏期講座は「聖書の文学的研究」と決定. III-27, 1892, 34.
- 4) ロンドン協会の講師 Mr. L. Worthington は、王立大英建築家協会の賞と奨学金を受賞. III-27, 1892, p34-35.
- 5) 講座に苦勞して出席する労働者の事例を本誌に掲載. III-27, 1892, 35.
- 6) 健康の講座を受講して、生活のためになったという書簡の紹介. III-27, 1892, 35.
- 7) *Natural Science* 創刊号に拡張講座受講生の論文が掲載される. III-27, 1892, 35.
- 8) タインサイドの受講生会が、新しい大学拡張雑誌を刊行し始める. III-27, 1892, 35.
- 9) Sir L. Playfair 著の *Subject of Social Welfare* から試験と教育の違いについて抜粋. III-27, 1892, 34..
- 10) J. Morley 著 *On the Study of Literature* からの抜粋. III-27, 1892, 41.

11) 匿名「学者について」から抜粋. III-27,1892, 41.

III-28, April 1892

- 1) ロンドン新大学の規約について、Mr. P. Bunting の意見. III-28, 1892, 46.
- 2) 教育省は、大学拡張システムを承認する方向に第一歩を踏み出す. III-28, 1892, 46.
- 3) 拡張講師 Prof. Lewes はロンドン市のガス検査主任に任命される. III-28, 1892, 46.
- 4) 広域地方協会としてヨークシャー地区協会が活動中、地区内に 30 の拡張センターがある. III-28, 1892, 46.
- 5) オーストラリア、拡張運動がメルボルンで始まる. III-28, 1892, 46.
- 6) Miss Harrison の「美術と文学におけるデメテルとペルセピネーの神話」講座という 3 回講義がサウス・ケンジントン博物館で行われる. III-28, 1892, 46-47.
- 7) Miss E. Sellers の「考古学」講座が大英博物館で行われる. III-28, 1892, 47.
- 8) 大きな慈善基金を以て栄えているミドルセックスの聖ルカ・センター. III-28, 1892, 47.
- 9) オックスフォードでの夏期講習会について本誌に掲載. III-28, 1892, 47
- 10) エディンバラでの夏期講習会は 8 月中に開催. III-28, 1892, 47
- 11) ケンブリッジでの夏期講習会については本誌に掲載.. III-28, 1892, 47
- 12) T.Huxley 著の *Lay Sermons: A Liberal Education* から抜粋. III-28, 1892, 47

III-29, May 1892

- 1) ロンドン教授大学に関する新王立委員会の委員 13 名の構成. III-29, 1892, 62.
- 2) Dr. Moulton の「聖書の文学的研究」講座の 2 回分の講義を本誌に掲載. III-29, 1892, 62.
- 3) お金がないと地方センターの事務局も回らない. III-29, 1892, 62.
- 4) ケンブリッジ大学拡張委員会は州議会関連技術教育の第 2 年報を刊行. III-29, 1892, 62-63.
- 5) オックスフォード、ケンブリッジ、ダラム、ヴィクトリアの拡張部が、16 の州議会技術教育委員会と会議を開く. III-29, 1892, 63.
- 6) エディンバラ大学拡張協会は、その年報で失敗の歴史という. III-29, 1892, 62.
- 7) アメリカ協会の上級講師、ペンシルヴァニア大学の Professors of Rolfe と Devine 2 名が来英して拡張センターで講義をする予定. III-29, 1892, 62.
- 8) ケンブリッジ大学拡張講師会の年次大会が開かれる. III-29, 1892, 62.
- 9) 拡張講師 Dr. Herford が、ロンドン大学英文学の試験委員に任命される. III-29, 1892, 62.
- 10) ロンドン協会の年次大会を報じた本誌 4 月号の在庫在り. III-29, 1892, 62.
- 11) Milton 著 *On Education* からの抜粋 . III-29, 1892, 62.

III-30, June 1892

- 1) 拡張講師 Rev. W.H.Shaw が、ベリオール・カレッジのフェローに選出される.. III-30, 1892, 78.
- 2) Dr. Moulton の「聖書の文学的研究」講座の 4 回分の講義を本誌に掲載. III-30, 1892, 78.
- 3) グレシャムカレッジセンターの受講生会は、今年の年次大会の基調講演者に C.Collins

を確保する. III-30, 1892, 78.

- 4) アメリカ協会の第1回全国大会の報告書が発行される. III-30, 1892, 78-79.
- 5) アメリカ協会の全国大会の報告書に、M.E. Sadler の「地方センターの組織と役割」という講演録が掲載される. III-30, 1892, 79.
- 6) M.E. Sadler はその講演で、地方センターが成功するには、ビジネスの方法を教育活動に
応用すること、自己犠牲、学問への熱愛、知的謙虚さが必要と主張. III-30, 1892, 79.
- 7) M.E. Sadler はその講演で、地方新聞との協働が必要と指摘. III-30, 1892, 79.
- 8) M.E. Sadler はその講演で、地方センターには事務局長に人を得ることが大切と指摘.
III-30, 1892, 79.
- 9) アメリカ協会は、拡張講師養成学校を作ることを検討中. III-30, 1892, 79.
- 10) ロンドンの拡張講師 Mr.F.E. Beddard は王立協会のフェローに選出される. III-30,
1892, 79.
- 11) 今年の夏期講習会はケンブリッジ、オックスフォード、エディンバラで開かれる.
III-30, 1892, 79.
- 12) ケンブリッジ拡張講師組合の会議で、Mr. H.E. Malden が事務局長に選出される.
III-30, 1892, 89.

III-31, October 1892

- 1) 新政府には、Mr. A. Acland, Mr. Asquith, Marquis Ripon, Mr. Gladstone 等の大学拡張支援
者がいる. III-31, 1892, 94.
- 2) 1892年の夏期講習会では古代史が取り上げられる. III-31, 1892, 94.
- 3) オックスフォード夏期講習会の意味. III-31, 1892, 94.
- 4) ケンブリッジ夏期講習会、Mr. Stuart の講演録が配布される. III-31, 1892, 94.
- 5) オックスフォード夏期講習会に出席した受講生からの手紙. III-31, 1892, 94-95.
- 6) ロンドン協会の中央講座（グレシャムカレッジ）は、「生物学」と「初期の英文学」
III-31, 1892, 95.
- 7) ロンドンの地方センターの運営委員会は、秋学期、春学期、それに夏学期を加えて学習
が年間を通じて継続的に行えるように工夫しつつある. III-31, 1892, 95.
- 8) 拡張講師 Dr. Moulton は、シカゴ大学に着任. III-31, 1892, 95.
- 9) ロンドンの貧民地区にあるホワイトチャペルの運営委員会は、タワーハムレットで大学
拡張を行う計画を作る. III-31, 1892, 95.
- 10) 教育省は大学拡張修了証を正式に認知した. III-31, 1892, 95.
- 11) クライスト・チャーチ・カレッジの支援のもとにエグゼター拡張カレッジが発足し、
Mr. Mackinder が学長に就任. III-31, 1892, 95.
- 12) 来月号に受講生（拡張学生）のピーターバラ大聖堂に関する論文を掲載する予定. III-31,
1892, 95.
- 13) 本誌のバックナンバーで入手可能な号. III-31, 1892, 95.
- 14) 銀行業界協会の採用試験に12名が合格、そのうち8名はバークベック・インステ
イ
テューション等での拡張講座「政治経済学」の受講生であった.. III-31, 1892, 104.

III-32, November 1892

- 1) グレシャムカレッジでの Mr. Asquith の「文学」講座での謝辞に際し、Canon Browne, が新生ロンドン大学について言及. III-32, 1892, 112.
- 2) ロンドン協会、合同委員会は15才以下の受講生に課題論文の指導をする必要はないと決める. III-32, 1892, 112.
- 3) 拡張講座での課題論文の例として Mr. Michael の実例を掲載. III-32, 1892, 112.
- 4) ロンドン地区で拡張講座が発展中. III-32, 1892, 112.
- 5) ロンドン協会、年間を通しての継続学習講座のが 20 講座に増加. III-32, 1892, 112.
- 6) セSSIONAL 修了証の取得者が増加. III-32, 1892, 112-113.
- 7) Prof. Lewis の講座に、マニユファクチャーや職人がたくさん受講する. III-32, 1892, 112.
- 8) 追悼記事、1879 年の拡張講師 Mr. Walter Pye の逝去. III-32, 1892, 112-113.
- 9) サウスポートで、ランカシャー・チェシャー協会の年次大会が開催される. III-32, 1892, 113.
- 10) ロンドン協会の年報は事務局で販売中. III-32, 1892, 142.
- 11) バックナンバー、入手可能. III-32, 1892, 126.

III-33, December 1892

- 1) ロンドン校長会で、Mr. Bryce が「市民の義務についての教育」と題での講演. III-33, 1893, 128.
- 2) 大学拡張批判に対して反論. III-33, 1893, 128.
- 3) セSSIONAL 修了証取得のための夏期学習について. III-33, 1893, 128.
- 4) オーナーズ・セSSIONAL 修了証が必要. III-33, 1893, 128.
- 5) ロンドン協会、夏期の中央講座を拡大することを決定. III-33, 1893, 128.
- 6) グレシャム・カレッジでの中央講座は、「生物学」と「英文学」に決定. III-33 1893, 128-129.
- 7) 王立地理学会主催地理学講座が開かれる予定. III-22, 1893, 129.
- 8) Mr. J. Stuart, M.P. の、大学拡張起源にかかわる「天界のロマンス」という記事が *Hackney Express* で出版される. III-33, 1893, 129.

III-34, January 1893

- 1) ケンブリッジでの夏期講習会への参加資格と宿泊所について. III-34, 1893, 144.
- 2) ケンブリッジの受講生会、全国各地の受講生会に呼びかけて基金作りを始める. III-34, 1893, 144.
- 3) オクスフォード拡張委員会、体系的学習の上級修了証規則を変更し、副総長修了証を新設する. III-34, 1893, 144.
- 4) オクスフォード、1891 年度に 398 講座、27, 969 名の受講生. III-34, 1893, 144.
- 5) レディング拡張カレッジの進捗状況. III-34, 1893, 144.
- 6) シカゴ大学、夜間及び土曜クラスのプログラム発行. III-34, 1893, 144.
- 7) ロンドンのグレシャム大学案はウェールズ大学の案と似ている. III-34, 1893, 144-145.

- 8) 大学学則上の学位の条項規定を変更. III-34, 1893, 145.
- 9) 本誌バックナンバー. III-34, 1893, 145.
- 10) ロンドン協会の年報 2d. で販売中. III-34, 1893, 151.

III-35, February 1893

- 1) ロンドン協会、年次大会の基調講演者は Prof. Jebb に確定. III-35, 1893, 160.
- 2) 大学拡張雑誌が増えていく、*University Extension Journal, Oxford University Extension Gazette, Student* (Tyneside Students Association). III-35, 1893, 160.
- 3) 新しい大学拡張雑誌、*University Extension* (アメリカ協会)、*University Extension Magazine* (シカゴ大学)、*University Extension* (同)、*Melborune University Extension Journal* (メルボルン大学). III-35, 1893, 160.
- 4) 大学拡張雑誌、*University Extension World* (シカゴ大学) 販売開始. III-35, 1893, 160.
- 5) クラッパムで、Mr. G. Foster のギリシャ語クラスが始まる. III-35, 1893, 160.
- 6) 講師と学生が哲学研究会を結成. III-35, 1893, 160.
- 7) トインビー委員会が、労働者向けの2つ特別講座を開くことを検討. III-35, 1893, 160.
- 8) 地理学受講生のために、王立地理学会の機関誌を紹介. III-35, 1893, 160-161.
- 9) Mr. J. Stuart, 大学拡張の起源にかかわる「天界のロマンス」の一連の記事を *Hackney Express and Shoreditch Observe* に連載. III-35, 1893, 161.
- 10) ユニヴァーシティ・カレッジ、無料連続講演会を開催. III-35, 1893, 161.
- 11) カーペンター会社主催の6週間無料学術講演会を開催予定. III-35, 1893, 161.
- 12) ロンドン協会、年報販売中. III-35, 1893, 161

III-36, March 1893

- 1) ロンドン協会、中央講座「ダンテ」を継ぐ次の講師に Mr. Wicksteed を決定. III-36, 1893, 177.
- 2) Mr. Wicksteed、講座のため予科クラス「イタリア語」を開く予定. III-36, 1893, 177.
- 3) Mr. Wicksteed の講座の中核となる受講生は、グreshamカレッジの受講生会である. III-36, 1893, 177.
- 4) ダンテ展覧会がユニバーシティホールで開かれる予定. III-36, 1893, 177.
- 5) メリルボーンセンター、セッション修了証取得のため Mr. A. Mitchell の「イギリス建築」講座を通年で開く. III-36, 1893, 177.
- 6) ストラトフォードセンター、Prof. Levis 教授の講座で受講したセンターの事務局長が、大きな化学研究所のポストを得と感謝の手紙を寄せてきた. III-36, 1893, 177.
- 7) 大学拡張雑誌の始まりは、1889年のオクスフォードのサーキュラーである. III-36, 1893, 177.
- 8) 拡張講師に、ケンブリッジの上級講師に Mr. H.E. Malden、女性講師に Miss E.G. Gardner、ロンドン協会は Miss E. Penrose を任命する. III-36, 1893, 177.
- 9) *University Extension World* は、イギリスの大学拡張センターの運営に関心が強い. III-36, 1893, 177.
- 10) *University Extension World* にエクセターセンター事務局長の Miss Montgomery の「地方

センター事務局長の責務」という論文が載る. III-36, 1893, 177.

- 11) *University Extension World* に Dr. T. J. Lawrence の「受講生会」の論文が載る. III-36, 1893, 177-178.
- 12) ニューヨーク州立大学の拡張部、拡張教育を工夫する. III-36, 1893, 179.
- 13) カーペンター社の講座、残りの3講義、夜8時に開講、無料講演会. III-36, 1893, 179.
- 14) ロンドン協会、評議員会報告書販売中 . III-36, 1893, 179.

III-37, April 1893

- 1) 拡張講座受講生が、枢密院教育委員会に対し、拡張講座修了証の認知に適用されている女王奨学金試験の適用の改正を求める. 付 教育法付則第5条. III-37, 1893, 192.
- 2) 拡張講座修了証がより広く認知されるように規則が改正されれば、教生が多く出席するようになり、画期的なこととなる. III-37, 1893, p192-193.
- 3) アメリカ協会の上級拡張講師 Mr. Devine の「大学拡張クラス」という論文を本誌に掲載. III-37, 1893, 193.
- 4) Mr. Devine は、数百人のクラス授業では拡張教育の目的が達成できないと主張. III-37, 1893, 193.
- 5) エディンバラでの夏期講習会は7月31日から8月26日まで開かれる. III-37, 1893, 193.
- 6) 成人教育の教授法は、具体的なことから抽象へ、知力を磨くためには精神によい印象を与え、事象から読書へと向け、深く考えるようにさすこと. III-37, 1893, 193.
- 7) 夏期講習会、ケンブリッジでの宿舎. III-37, 1893, 193.
- 8) ケンブリッジ、州議会代表たちと技術教育について話し合う. III-37, 1893, p193-194.
- 9) Mrs. Cohen、受講している講座に関する図書文献をどのように届けるかを検討中. III-37, 1893, 194.
- 10) ロンドン協会、地方センター代表者会議をトインビーホールで開き、チュートリアルクラス (tutorial classes) 等について議論する. III-37, 1893, 194.
- 11) シカゴ博覧会に、各拡張当局は大学拡張の物品を陳列することを了承. III-37, 1893, 194.
- 12) 拡張講座でのダンテ学習の組み立て、①ウィリアムズ博士図書館の閲覧、②Mr. Wicksteed の中央講座「ダンテ」でダンテ学習の方法を聴講、③予科クラス「イタリア語」. III-37, 1893, 194.
- 13) ロンドン協会、夏期講習会が開かれないので、通年学習を行うことと指示.. III-37, 1893, 194.
- 14) 本誌バックナンバー、購入可能. III-37, 1893, 194.
- 15) ロンドン協会の年報販売中. III-37, 1893, 198.

III-38, May 1893

- 1) ロンドン・インスティテューションで、Mr. Collins は講師の推薦する図書が重要であるという. III-38, 1893, 208.
- 2) Mr. Collins は「ギリシャ古典」講座の3番目の講義で、文学を通じてのギリシャの影響と、ローマ経由での影響を区別するようという.. III-38, 1893, 208.

- 3) 文学系・言語系の講座が活発になっている. III-38, 1893, 208.
- 4) Mr. Wicksteed の基調講演は「外国語学習」について. III-38, 1893, 208.
- 5) ヨークシャー協会年次大会、第 1 決議、教育法付則第 5 条で大学拡張修了証の適用を拡張することについて. III-38, 1893, 208-209.
- 6) ヨークシャー協会の年次大会、第 2 決議、夏期講習会に参加するための基金づくり. III-38, 1893, 209.
- 7) ケンブリッジ学内で、夏期講習会参加のための奨学金寄付者が多数出る. III-38, 1893, 209.
- 8) Mr. Rose が拡張クラスの指導についての論文を掲載. III-38, 1893, 209.
- 9) 銀行業界協会試験で最優秀論文となった 3 人は、「政治経済学」の受講生. III-38, 1893, 209.
- 10) ケンブリッジ、エクセター拡張カレッジの学長に上級拡張講師 Mr.A.W.Clayden を任命. III-38, 1893, 209.

III-39, June 1893

- 1) ケンブリッジでの夏期講習会の概要. III-39, 1893, 224.
- 2) 「拡張クラス」での指導についての論文に、バックワースセンターの事務局長 Mr. E.Ellis が加わる. III-39, 1893, 224.
- 3) Mr. Wicksteede の「イタリア語」クラスでは、文法なし、辞書なし、事前学習なしという驚く教授法を採用して受講生を 'Nel mezzo'へ. III-39, 1893, 224.
- 4) ロンドン協会、受講生はセッションナル修了証取得を目指して学習中. III-39, 1893, 224
- 5) ロンドン協会合同委員会へのオックスフォード派遣委員 3 名、Mr. T.Warren, Mr. J. Wells, Mr. H.J.Mackinder が決まる. III-39, 1893, 224-225.
- 6) ヘレニック協会に合同委員会を設け、ギリシャ関係のエクステンションニストが集まる. III-39, 1893, 225.
- 7) ケンブリッジ、拡張講師組合の年次大会開催. III-39, 1893, 225.
- 8) トインビーホール図書館長の年次報告は、健全経営と報告.. III-39, 1893, 225.
- 9) 全国家庭読書連盟 結果的に全国に拡張講座を普及させることになる. III-39, 1893, 225.
- 10) 本誌バックナンバー、在庫在り. III-39, 1893, 225.

UNJ, IV-40, October 1893

- 1) ケンブリッジでの夏期講習会の感想記録を本誌に掲載. IV-40, 1893, 2.
- 2) 拡張講座と他の講座との違い、決定的なのはクラスでの討議と課題論文の提出. IV-40, 1893, 2.
- 3) 夏期講習会、オックスフォードとケンブリッジの違い. IV-40, 1893, 2.
- 4) 地方センターの受講生を夏期講習会に参加させるための地方基金の設置. IV-40, 1893, 2-3.
- 5) 本誌に、Prof. Jenks の「拡張運動と州議会」という論文を掲載. IV-40, 1893, 2.
- 6) *Melbourne University Extension Journal* は財政的に破綻する. IV-40, 1893, 2.

- 7) オーストラリア、オックスフォードに習って短期講座を開始. IV-40, 1893, 2.
- 8) ケンブリッジ、事務局長 Mr. A. Berry が、「よい講義と悪い講義」を書き、*Educational Review* でパンフレットとして出版される. IV-40, 1893, 2.
- 9) 新夜間学校法で興味深い科目は「市民の生活と義務」である. IV-40, 1893, 2.
- 10) 銀行業界の試験で、最終に残った 34 名中 12 名が拡張講座を受講した人. IV-40, 1893, 2-3.
- 11) ギルクリスト財団の講座は秋学期では隔週木曜日に開催. IV-40, 1893, 3.
- 12) ロンドン協会でのセッション修了証取得について、Mr. A. Berry は単学期では取得できないと念を押す. IV-40, 1893, 4.
- 13) ロンドン、年齢制限で15才未満は受講を認めないことで失望が広がる. IV-40, 1893, 3.
- 14) 1892 年度の本誌をバインドすることについて. IV-40, 1893, 3.
- 15) 農業地理学会が、「大英帝国に当てはまる商業地理の原理」6 回講義の講座を提供する. IV-40, 1893, 14.

IV-41, November 1893

- 1) ロンドン協会、年次大会の会場はゴールドスミス社のホールを確定. IV-41, 1893, 18.
- 2) オックスフォードで、中等教育に関する会議が開かれた. IV-41, 1893, 18.
- 3) ロンドン市議会、この冬期に拡張講座 5 つを用意する. IV-41, 1893, 18.
- 4) レーウィッシュセンターで、地方の学習団体を組織化することが始まる. IV-41, 1893, p18-19.
- 5) エクセター技術・大学拡張カレッジが開校. IV-41, 1893, 19.
- 6) Prof. Jebb の夏期講習会での基調講演録がケンブリッジ出版部から出版される. IV-41, 1893, 19.
- 7) 拡張講師 Mr. C. Collins は訪米する予定. IV-41, 1893, 19.
- 8) *University Extension World* の各号の口絵に大学拡張での著名人の写真を掲載、また Dr. T.J. Lawrence の「講義学習とその役割」という論文を掲載. IV-41, 1893, 19.
- 9) チェルシーセンターで、大学拡張哲学会の第 1 回会合があり、講演は Dr. Bosanquet による「心理学の原子論」. IV-41, 1893, 19.
- 10) ゲーテ協会が *Transactions* (第 7 巻) を発行. IV-41, 1893, 19-20.
- 11) ドイツ文学がなぜ講座の中に少ないのか. IV-41, 1893, 20.
- 12) ケンブリッジ、女性拡張講師にガートンカレッジ出身の Miss E.A. McCarther を採用. IV-41, 1893, 20.
- 13) 元拡張講師 Mr. W. Cassie が、ロイヤル・ホロウェイ・カレッジの教授なる. IV-41, 1893, 20.
- 14) ブリュッセル大学、大学拡張の 7 センターを保有している. IV-41, 1893, 20.
- 15) ロンドン協会、セッション修了証取得者リストを本誌に掲載. IV-41, 1893, 20.

IV-42, December 1893

- 1) ロンドン協会は、グreshamカレッジ中央講座を動物園協会で行う、講師は死体解剖人の Mr. F.E. Beddard である. IV-42, 1893, 34.

- 2) 拡張講座と州議会講座との同盟に関して論じた Prof. Jenks や Mr.Sadler の論文が本誌に掲載されている. IV-42, 1893, 34.
- 3) 夏期講習会へ出席するための奨学金について、スカボロセンターの事務局長の意見. IV-42, 1893, 34.
- 4) 夏期講習会、来年はケンブリッジで開かれない. IV-42, 1893, 34.
- 5) ケンブリッジで、州議会講座が減少. IV-42, 1893, 34.
- 6) *Oxford University Extension Gazette* に若い女性が「大学拡張は本来クラスを意図していない」と書いて物議をかもしている. IV-42, 1893, 34.
- 7) オックスフォードで開かれた中等教育会議の報告書がクラレンドン出版部から刊行される. IV-42, 1893, 34.
- 8) アメリカ協会、*University Extension* とは別に *University Extension Bulletin* を発行.. IV-42, 1893, 34-35.

IV-43, January 1894

- 1) ロンドン協会、「ギリシャ語」クラスの指導規定を作成する. III-43, 1894, 50.
- 2) 「ギリシャ語」クラスの指導規定は受講生に重荷になるようなものではない. III-43, 1894, 50.
- 3) 「ギリシャ語」クラスの担当講師、Mr. Wicksteed、Mr. Gibson、Mr. Foster、Mr. Tatton、Miss Harrison、Miss Rees. III-43, 1894, 50.
- 4) ロンドン協会、セッションナル講座は56講座に増える. III-43, 1894, 50.
- 5) ロンドンでは、補習的な夏季講座を開き、受講生に歓迎される. III-43, 1894, 50.
- 6) オックスフォード夏期講習会の概要について.. III-43, 1894, 50.

IV-44, February 1894

- 1) ロンドン協会、年次大会の基調講演は Lord Playfair に決定. IV-44, 1894, 66.
- 2) Lord Playfair の経歴 (その1) . IV-44, 1894, 66.
- 3) Lord Playfair の経歴 (その2) . IV-44, 1894, 66.
- 4) グレシャム大学委員会の答申案の骨子が *Times* 紙に載る. IV-44, 1894, 66.
- 5) ベッドフォードセンター事務局長 Miss Blake から、大学拡張の起源は W. Dell 著の *The Right Reformation of Learning* に求められるという書簡が届き、本誌に掲載する. IV-44, 1894, 66.
- 6) Dr. T.J. Larence は、ケンブリッジの全教員に宛てて国際大学拡張会議を開くことと、大学院教育の方向で改革をすることを訴える. IV-44, 1894, 66-67.
- 7) ケンブリッジ、ロンドン協会の言語教育規則を採用する. IV-44, 1894, 67.
- 8) 「ギリシャ語」クラスに言語教育規則を適用することについて. IV-44, 1894, 67.
- 9) オックスフォードでの夏期講習会のテーマは「17世紀の歴史、文学、哲学」. IV-44, 1894, 67.
- 10) 最初の大学拡張講師である Rev. W. Moore Ede は、ダラム大聖堂の名誉参事会員となる. IV-44, 1894, 67.
- 11) ニューカースルの大学拡張雑誌 *Student* を受領. IV-44, 1894, 67.

- 12) シカゴ大学、ケンブリッジの大学拡張講師組合をモデルにして大学拡張クラブを作る。 IV-44, 1894, 67.
- 13) ヨーロッパ大陸の、ベルギー、スウェーデン、ウィーンで拡張運動が発達。 IV-44, 1894, 67.
- 14) カーペンター社、今期からの大学拡張型講座プログラムを提供すると発表。 IV-44, 1894, 67

IV-45, March 1894

- 1) ロンドン協会、年次大会での Lord Playfair の基調講演は素晴らしかった。 IV-45, 1894, 83.
- 2) ロンドンで大学拡張会議を 6 月に開催することを決定。 IV-45, 1894, 83.
- 3) 海外で大学拡張運動が急速に発展中。 IV-45, 1894, 83.
- 4) ロンドンで大学拡張会議には、イギリス国内、植民地、アメリカ、ヨーロッパ諸国から参加者があると想定している。 IV-45, 1894, 83.
- 5) 夏期講座リスト、財政がよくないセンターでの対応策。 IV-45, 1894, 83.
- 6) Dr. Lawrence の講座論に触発された、社会科学の講座の在り方についての意見。 IV-45, 1894, 83.
- 7) オックスフォード、夏期講習会の詳しいプログラムを掲載。 IV-45, 1894, 83.
- 8) 本誌バックナンバー。 IV-45, 1894, 95.

IV-46, April 1894

- 1) ロンドン協会、中央講座の文学系は Dr. Bosanquet の「プラトン」と決定。 IV-46, 1894, 98.
- 2) ロンドン協会、中央講座は普通の受講生にも理解できる。 IV-46, 1894, 98.
- 3) ロンドン協会、中央講座へ参加する受講生は「地方センター」の欄に載っているグresham College センターの記事をよく読んでおくこと。 IV-46, 1894, 98.
- 4) オックスフォードの夏期講習会プログラムが発行される。 IV-46, 1894, 98.
- 5) 夏期講習会の参加受講料がどこでも問題になる。 IV-46, 1894, 98.
- 6) オックスフォードでの夏期講習会、基調講演者は Mr. Bryce、演題は「現代にとって古代の文学学習の価値」。 IV-46, 1894, 98.
- 7) エディンバラでの第 8 回夏期講習会の特徴は、人間として、また市民としての受講生を鍛えるために、教育方法が工夫されていることにある。 IV-46, 1894, 98.
- 8) ロンドン協会、過去 9 回分の年次大会における基調講演を収録して出版する予定。 IV-46, 1894, 98.
- 9) Mr. Wicksteed が指導するダンテ研究会が形成される。 IV-46, 1894, pp98-99.
- 10) ボーンマスセンターで、地方で拡張運動に携わる人々の集会が開かれる。 IV-46, 1894, 99.
- 11) ドイツ・イエーナ大学、Prof. Rein の大学拡張の論文が *Blätter für Soziale Praxis in Gemeinde, Vereinen und Privatleben* に載る。 IV-46, 1894, 99.
- 12) シカゴの公共図書館から *University Extension Journal* の欠号 No.7 と No. 17 の補充をしたいという要請がくる。 IV-46, 1894, 99.

IV-47, May 1894

- 1) 6月開催のロンドン大学拡張会議は国際的な集まりになる. IV-47, 1894, 114.
- 2) グレシャムカレッジの中央講座で行われた Dr. Bosanquet の講演録を全文掲載する. IV-47, 1894, 114.
- 3) Mr. Wicksteed の「ダンテ学習」講座では、新しい教授法に適応できるように受講生を指導.. IV-47, 1894, 114.
- 4) ロンドン協会をいつも支援してくれる Canon Elwyn に感謝. IV-47, 1894, p114-115.
- 5) ケンブリッジ拡張講師組合の年次大会が、大学拡張特別委員会の建物で開かれる. IV-47, 1894, 115.
- 6) ランカシャー・チェシャー協会の運営集会在、オーウェンズ・カレッジで開かれる. IV-47, 1894, 115.
- 7) ノーザン協会の第7回年次大会がダラム科学カレッジで開かれる. IV-47, 1894, 115.
- 8) 新しくダンテ受講生会の第1回集まりが、ユニヴァーシティホールで開かれる. IV-47, 1894, 115.
- 9) メルボルン大学拡張、財政危機を乗り切る. IV-47, 1894, 115.
- 10) 全国家庭読書連盟の夏期集会在バックストンとソールズベリで開かれる. IV-47, 1894, 115.

IV-48, June 1894

- 1) ロンドン協会、大学拡張会議に合わせて、年次大会の演説集を出版することとなる. IV-48, 1894, 130.
- 2) オックスフォードで開かれる夏期講習会へ参加できるようにするための地方奨学金を用意しよう. IV-48, 1894, p130-131.
- 3) その地方奨学金の作り方としては、講義ごとに一人1ペニーを徴収するというのもある. IV-48, 1894, 131.
- 4) ロンドン協会直轄の中央講座のうちのひとつは、Dr. Bosanquet,の担当する「プラトン」である. IV-48, 1894, 131.
- 5) ワイに設立された南東農業カレッジの理事会は、大学拡張の方針に則って教育活動を進めたいという意向である. IV-48, 1894, 131.
- 6) 南アフリカの大学拡張は、拡張講師をイギリス人のブランチからケープまで行かせることで基礎ができた. IV-48, 1894, 131.
- 7) セSSIONナル修了証を取得したい受講生は、ロンドン協会の公的告示を見ること. IV-48, 1894, 131.
- 8) 本誌バックナンバー. IV-48, 1894, 131.
- 9) 貧しい若い労働者が受講している化学担当の拡張講師への手紙、労働は朝7時から午後9時まででも講義に出られない、シラバスの正価は3ペンスだが、もうお金がないので1ペンスで分けてくれないかと相談を持ちかける. IV-48, 1894, 139.

V-49, October 1894

- 1) 夏期講習会の目的は、前に学習したことの補充や調整、もう一つは将来の学習に向けて受講生に刺激を与えるにある . V-49, 1894, 2
- 2) 本誌に、Mr. Howson の「本部長講師職」(Superintendent Lecturerships) を設ける意見を掲載する. V-49, 1894, 2.
- 3) 夏期講習会に参加するための奨学金づくりについて.. V-49, 1894, 2.
- 4) その奨学金づくりの方法として、受講生一人一講義当たり 1 ペニーを集めて 10 ポンドにすることができる. V-49, 1894, 2.
- 5) 本誌の販売促進のため、受講生会には正価の 3 分の 2 の値段で販売する. V-49, 1894, 2-3.
- 6) *Nineteenth Century* 誌に、Mr. Charles Whibley の「大学拡張の笑劇」という論文が載る、誤解が甚だしい. V-49, 1894, 3.
- 7) ニューカッスルの *Student* 誌に、Mr. Stuart とのインタビューが掲載されている. V-49, 1894, 3.
- 8) *Melbourn University Extension Journal* が復活. V-49, 1894, 3.
- 9) シカゴ大学の *University Extension World* は、形を変え四季報となる. V-49, 1894, 3.
- 10) *Oxford University Extension Gazette* に、Mr. A. Sidgwick の講演録「教師養成」が掲載される. V-49, 1894, 3.
- 11) ロンドン協会、地方センター事務局長会議がチャーターハウスで開かれる. V-49, 1894, 3.
- 12) ロンドン州議会の講座の中に教生を対象にした 2 つの講座がある.. V-49, 1894, 3-4.
- 13) 地方センターのケンブリッジセンターの箇所、「市民の権利と義務」講座の詳細が、に載っている. V-49, 1894, 4.
- 14) 国際大学拡張会議の会議録が出版される. V-49, 1894, 4.
- 15) Dr. C.W. Kimmins がロンドン州議会の理科学校の視学官に就任. V-49, 1894, 4
- 16) 大学拡張哲学会が、新年度に Mr. J.S. Mackenzie の「権利と義務」という論文を発表する. V-49, 1894, 4
- 17) ロンドン協会、セッションナル修了証は 1 学期のみでは認められないと告知. V-49, 1894, 4
- 18) ロンドン協会、規則により年齢 15 歳以下は指導しないと決める. V-49, 1894, 4.
- 19) エディンバラでの夏期講習会については次号で扱う. V-49, 1894, 8.
- 20) ブリュッセルの自由大学から、大学拡張講座のシラバスが届く. V-49, 1894, 10.
- 21) 本誌第 4 巻の索引を作成. V-49, 1894, 12.

V-50, November 1894

- 1) ロンドン協会、今年度の年次大会について. V-50, 1894, 18.
- 2) ロンドン協会と地方センター会の話し合いがあり、Mr. de Burgh の「労働者を出席させる最良の方法」、R.D. Roberts の「学習の継続」の講演もある.. V-50, 1894, 18.
- 3) ロンドン協会、1893 年度セッションナル修了証取得者リストを発表. V-50, 1894, 18.
- 4) 教育省の規則でセッションナル修了証には、女王奨学金規則に準じて、最低出席回数 20 回が明記されるので注意をして欲しい. V-50, 1894, 18.

- 5) Prof. Jenk のシラバスを見ると、拡張教育と民衆講義の違いがよく分かる. V-50, 1894, 18.
- 6) 夜間継続学校法の規則によると、大学拡張講座が役立つのが多く、「市民の生活と義務」は拡張講師の独壇場になっている. V-50, 1894, 18.
- 7) ハンプステッドに大学拡張センターができる. V-50, 1894, 18-19.
- 8) Mr. Wicksteed の指導法に基づく「ダンテ」講座が7センターで実施中. V-50, 1894, 19.
- 9) エクセター拡張カレッジで、教師対象の休暇コースで「教授の理論と実際」の講座を実施. V-50, 1894, 19.
- 10) アメリカ協会の *University Extension* に、Prof. A. Tubbs の論文「オーストラリアの大学拡張」が載る. V-50, 1894, 19.
- 11) 同論文によると、シドニーやニュー・サウス・ウェールズでも大学拡張が発達し始めている、という. V-50, 1894, 19.
- 12) ベルファストの大学拡張協会は民間団体により運営されているが、大学が関与すべきである. V-50, 1894, 19.
- 13) ダンテ受講生会の集会が2カ所であり、Miss Beard-King が「ダンテのいう理想の政府」等の発表があった. V-50, 1894, 19-20.
- 14) 大学拡張哲学会の最初の会合がユニヴァーシティホールであり、Mr. I.S. Mackenzie が「権利と義務」について講演をした. V-50, 1894, 20.
- 15) 本誌バックナンバー、在庫在り. V-50, 1894, 20.
- 16) 拡張講師 Dr. R.G. Moulton がヘブライ文学の本を出版する予定. V-51, 1894, 42.
- 17) 地方センターの記事を次号に回す. V-51, 1894, 43.

V-51, December 1894

- 1) ロンドン協会、1876年の創設時から会長職にあった Mr. Goschen が辞任. V-51, 1894, 34.
- 2) ロンドン協会、評議員会議長に Canon G.F. Browne を選出. V-51, 1894, 34.
- 3) ロンドン協会、1881-91 まで務めた事務局長 Dr. Roberts はケンブリッジの事務局長に異動. V-51, 1894, 34.
- 4) ロンドン協会、事務局長にケンブリッジの老練な拡張講師 Dr. C.W. Kimmins が就任、. V-51, 1894, 34.
- 5) ロンドン協会、優等修了証取得者リストを発表. V-51, 1894, 34-35.
- 6) ロンドン協会、1892年度の普通セッション修了証取得者は103名、そのうち25名が優等である. V-51, 1894, 35.
- 7) ロンドン地方センター会が成立. V-51, 1894, 35.
- 8) 25回講義から成るセッション講座の第1回講義は、Mr. H. Cunynghame による「イギリス政府とイギリス市民の権利と義務」. V-51, 1894, 35.
- 9) ヴィクトリア大学の拡張委員会は、リヴァプール学務委員会と提携して、Prof. Reigh による24回講義の講座を開講する. V-51, 1894, 35.
- 10) 来年度のオックスフォードでの夏期講習会のテーマは「18世紀の歴史、文学、芸術、哲学、経済学」である. V-51, 1894, 35.

- 11) オックスフォードとエディンバラの夏期講習会の違い. V-51, 1894, 35-36.
- 12) ケンブリッジ、本誌に第24年報を簡略にして紹介. V-51, 1894, 36.
- 13) ケンブリッジの Mr. Berry は、大学拡張会議で注目を集めた本部長講師職が必要という. V-51, 1894, 36.
- 14) オックスフォード、大学拡張委員会の年報が刊行される. V-51, 1894, 36.
- 15) ケンブリッジ、Mr. Berry が事務局長を辞任する. V-51, 1894, 36.
- 16) ノッティング・ヒルセンターは、Mr. Wells の講演を確保する. V-51, 1894, 36.
- 17) エグゼターでの休暇講座を入手. V-51, 1894, 36.
- 18) 本誌、地方センターの記事をスペースの関係で先送りする. V-51, 1894, 43.

V-52, January 1895

- 1) Mr. Sadler が、教育省が新設した情報部の所長に就任する. V-52, 1895, 51.
- 2) Mr. Sadler は、オックスフォード大学拡張の再興者である. V-52, 1895, 51.
- 3) Duke of Devonshire が大学拡張会議で提案した四大学拡張当局の合同委員会設置提案に基づいて動きが始まる. V-52, 1895, 51.
- 4) ロンドン協会、セッションナル講座は51講座あり、そのうち7つが新規もしくは再開したセンターで開かれている. V-52, 1895, 51.
- 5) セッションナル修了証のコースのため、夏季の補充クラスが地方センターで設けられつつある. V-52, 1895, 51.
- 6) グレシャムカレッジでの Mr. Mackinder の「地理学」講座の司会を、王立地理学会会長の Mr. C.R. Markham が務める. V-52, 1895, 51.
- 7) オックスフォード、139 センターの受講生の 11%は中等学校の生徒であると、大学拡張の年報に記載されている. V-52, 1895, 51-52.
- 8) 第3の拡張カレッジはレスターであろうか. V-52, 1895, 52.
- 9) アメリカ協会の *University Extension* に、Dr. Roberts の「学習の継続」についての論文が載る. V-52, 1895, 52.
- 10) エクセター技術・大学拡張カレッジで開かれた教師対象の休暇講座は大成功. V-52, 1895, 52.
- 11) ベルギー、ブリュッセルの大学拡張協会が集まり会議を開く、イギリスからお代表の派遣が求められている. V-52, 1895, 52.
- 12) Dr. Lawrence にガードンの教区牧師の収入を献呈される. V-52, 1895, 59.

V-53, February 1895

- 1) ロンドン協会、年次大会の基調講演者は Dr. Butler、テーマは「バーク」. V-53, 1895, 66
- 2) ロンドン協会、会長に Sir John Lubbock の名前があがっている. V-53, 1895, 66
- 3) ロンドン協会、Dr. Butler の基調講演には新会長も出席すると思われる. V-53, 1895, 66.
- 4) Miss Montgomery 著の「大学の機会」という論文が、*Oxford University Extension Gazette* に掲載される. V-53, 1895, 66
- 5) S という人が書いた論文は大学拡張に批判的であるが、実は好意的であると理解される. V-53, 1895, 66

- 6) オックスフォード、大学拡張特別委員会の匿名委員から本部長講師職のための 600 ポンドが寄付される . V-53, 1895, 66
- 7) グレシャム大学について、首相から関係代表団に対しての回答は未だ無いが好意的と思われる. V-53, 1895, 66-67.
- 8) 大学拡張の発足時に活躍した講師 Canon M. Ede と、Dr. Percival に、ケンブリッジ大学は 1790 年にできたハルシーン講座を担当する栄誉が与えられる. V-53, 1895, 67
- 9) ロンドン協会、1893 年度の会計決算書は 181 ポンド 15 シリング 3 ペンスの赤字. V-53, 1895, 67
- 10) ロンドン協会、大学合同委員会の委員に Dr. Roberts と Mr. Sadler を任命. V-53, 1895, 67.
- 11) ケンブリッジ、地方事務局長会議を開催. V-53, 1895, 67.
- 12) オックスフォードの大学拡張特別委員会の事務局長に Mr. J.A.R. Marriott、ヴィクトリア大学拡張委員会の事務局長に Mr. P. Hartog が任命される. V-53, 1895, 67.
- 13) 大学拡張哲学会、発展中.. V-53, 1895, 67.
- 14) ブリュッセルで開かれた大学拡張会議の報告はケンブリッジを代表して出席した Mr. E.A. Parkyn が書いている. V-53, 1895, 67.
- 15) *Melbourne University Extension Journal* は廃刊となる. V-53, 1895, 67.
- 16) ドイツの高等教育の雑誌に *Hochschul-Nachrichten* がある. V-53, 1895, 67.
- 17) 本誌、スペースの関係で地方センターの事務局長便りと、投書を次号送りとする. V-53, 1895, 75.

V-54, March 1895

- 1) 追悼記事、Lady Stanley of Alderley 逝去. V-54, 1895, 82.
- 2) 追悼記事、オックスフォードの元気な Mr A. Robinson 逝去. V-54, 1895, 82.
- 3) 追悼記事、現職の新任拡張講師 Mr. Walter Low. V-54, 1895, 82.
- 4) 大学拡張サークルにインフルエンザが流行. V-54, 1895, p82-83.
- 5) オックスフォード、本部長講師に Mr. Wells と Mr. Horsburgh. を任命. V-54, 1895, 83.
- 6) オックスフォードでの夏期講習会のプログラム概要. V-54, 1895, 83.
- 7) 教育省の「組織された科学学校規則」は、高等教育の分野で喜ばれている. V-54, 1895, 83.
- 8) カーペンター社の講座シリーズは継続中. V-54, 1895, 83.
- 9) 本誌バックナンバー、ロンドン協会の事務局で入手可能. V-54, 1895, 93.

V-55, April 1895

- 1) 7 年前に始まったセッションナル修了証の試みが、大学拡張運動を活性化させた. V-55, 1895, 98.
- 2) セッションナル修了証を発展させるために優等制度を新設する. V-55, 1895, 98.
- 3) ケンブリッジのアフィリエーション制度は、講座のシークエンスを確保することに貢献した. V-55, 1895, 98.
- 4) ロンドン協会、中央講座の「芸術」系講座では、Dr. Bosanquet を講師に選ぶ. V-55, 1895,

98.

- 5) Mr. Sadler のオックスフォード大学拡張への貢献を記念して労働者対象の夏期講習会用奨学金作る.. V-55, 1895, 98.
- 6) エディンバラでの第9回夏期講習会の案内が届く. V-55, 1895, 98.
- 7) ベックナムセンターの受講生会の所蔵するフランス革命に関する文献を廉価で譲と いう申し出あり. V-55, 1895, 109.

V-56, May 1895

- 1) 大学拡張支持者、Bishop of Stepney に感謝. V-56, 1895, 114.
- 2) ロンドン協会、中央講座の理系講座は、Professor Ramsay の「化学発見の歴史」に決まる. V-56, 1895, 114.
- 3) グレシャムカレッジ受講生会の年次大会がチャーターハウスで開かれる予定. V-56, 1895, 114.
- 4) ケンブリッジ、修了証授与規定を修正し、普通と優等の2種類とする、大事なことはロンドンで成功したセッションナル修了証を採り入れていることにある. V-56, 1895, 114.
- 5) ケンブリッジ、拡張講師組合の年次大会が開かれ、会議では修了証の変更が歓迎される. V-56, 1895, 114.
- 6) レディングで、オックスフォード南部諸州連盟の集会が開かれる. V-56, 1895, 114.
- 7) オックスフォードでの夏期講習会の概要を公表する. V-56, 1895, p114-115.
- 8) グラスゴー大学拡張委員会事務局長 Dr. R.M. Wenley が、スコットランド大学拡張史の小冊子を発表する. V-56, 1895, 115.
- 9) 全国家庭読書連盟、休日週間計画策定. V-56, 1895, 115.
- 10) ベックナムセンターの受講生会は廉価で手持ちの本を売りたい.. V-56, 1895, 122.

V-57, June 1895

- 1) グレシャムカレッジ受講生の年次大会、基調講演は Dr. Bosanquet の「プラトン」で、講演録が出版される. V-57, 1895, 130.
- 2) Dr. Bosanquet の講座は2年目に入り、全部で50回の講義となる、来年度は少し内容が違ふ. V-57, 1895, 130.
- 3) Mr. Wicksteed の「ダンテ」講座受講生たちは、イタリアのフローレンスとその周辺へ 学習旅行に行く. V-57, 1895, 130.
- 4) ケンブリッジ、エクセター大学拡張・技術カレッジの学長に、最初の本部長講師である Mr. A.W. Clayden を任命する. V-57, 1895, 130.
- 5) エディンバラでの夏期講習会は8月5日から31日まで. V-57, 1895, p130-131.
- 6) 全国家庭読書連盟、夏季集会のプログラム. V-57, 1895, 131.
- 7) ジュネーブ大学で「近代フランスの休暇コース」が開かれる. V-57, 1895, 131.